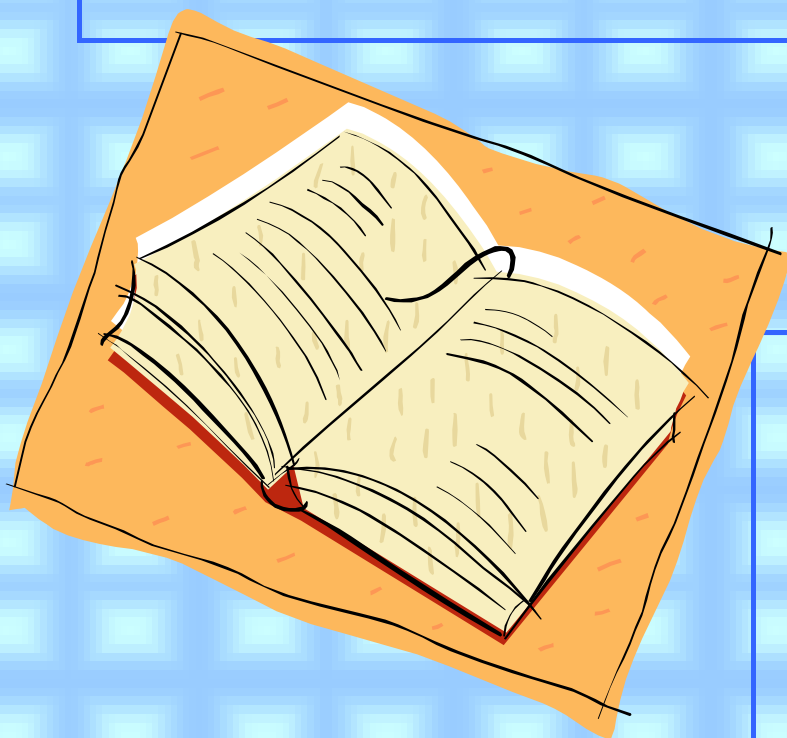


## 国際セミナー「イスラームと文学表象」

- ・2008年12月1日(月)午後4:30～6:30
- ・東京外国語大学 研究講義棟 総合文化研究所会議室(422)
- ・報告はインドネシア語、日本語通訳つき。どなたでも参加できます。

インドネシアの新進文学者エカ・クルニアワンさんをお招きし、近作の小説に描かれたイスラームについて語っていただき、しばしば政治・宗教の側面でのみ語られがちなイスラームについて、文学作品におけるイスラームの表象という視点から討議いたします。

コメンテーターとして柳原孝敦氏（スペイン語専攻）にスペイン語文学の視点から、澤井志保氏（本学博士課程）に現代インドネシア文学からのコメントをいただきます。



### 講演者略歴

1975年、西ジャワ州タシクマラヤ生まれ。ガジャマダ大学卒業。インドネシアで注目される新進若手作家。著書には長編小説『美は傷』（2002年）、『プラムディア・アナンタ・トゥールと社会主義リアリズム文学』（1999年）、長編小説『虎男』（2004年）などがある。



『美は傷』新風社 2006年刊行の表紙→

連絡先：青山亨研究室（研究講義棟 633）

Tel/Fax：042-330-5300

E-mail：taoyama@tufs.ac.jp